

今回の審議対象の高速道路会社施行事業箇所について

有料道路事業の導入・変更関係

路線名	起終点	延長	全体事業費	有料道路事業費
国道468号 首都圏中央連絡自動車道	大栄JCT～松尾横芝IC 24年度供用予定	約18.5km	約760億円	約540億円 (約140億円)
国道475号 東海環状自動車道 ※1	高富IC～大野・神戸IC 北勢IC～大安IC 24年度供用予定	約25.8km	約6,980億円	約1,720億円 (約570億円)
国道24号 大和北道路 ※2	奈良北IC～ 郡山下ツ道JCT	約12.4km	約2,900億円	約1,170億円
国道2号 神戸西バイパス	永井谷JCT～ 石ヶ谷JCT	約6.9km	約560億円	約400億円

※1この他、土岐JCT～美濃加茂IC間において付加車線設置 ※2奈良北IC～奈良IC間は新規事業化

※事業費の下段()は財投投入以前の有料道路事業費

4車線化関係(再評価)

国道468号 首都圏中央連絡自動車道	久喜白岡JCT～ 大栄JCT 22年度から順次供用(24 年度全線供用)	約92.2km	約3,820億円	約3,820億円
国道497号 西九州自動車道(佐々佐 世保道路・佐世保道路) ※1	佐々IC～ 佐世保大塔IC 24年度から順次供用(27 年度全線供用)	約16.8km	約890億円	約890億円
国道10号 隼人道路	隼人東IC～ 加治木JCT・IC 22年度から順次供用(24 年度全線供用)	約7.3km	約250億円	約250億円

※1佐々佐世保道路は今回、新規に有料道路事業を導入

★圏央道、東海環状、西九州道、隼人道路は財政投融资を活用